

百

日本の
森・滝・渚
全国協議会 会報

選賛美

2021
vol. 14

会員百選地通信
特集「協議会の歩み」
自然敬愛宣言



ヒスイテラス



天空テラスから臨む
ヒスイ海岸

令和3年度 総会開催地

富山県 朝日町

■ 岸から山脈まで
ダイナミックなパノラマが
広がるまち



日本の渚百選「ヒスイ海岸」



ヒスイの原石



海岸沿いを走行するサイクリスト

P02 令和3年度総会開催地
富山県朝日町

「海岸から山脈まで ダイナミックなパノラマが広がるまち」
富山県朝日町の見どころを紹介

P08 **会員百選地通信**

全国の会員から寄せられた百選地等の情報です。ぜひ一度は訪れてみたいところばかりです。

- 岩手県宮古市
- 秋田県小坂町
- 山形県鶴岡市
- 千葉県旭市
- 千葉県匝瑳市
- 千葉県山武市
- 千葉県横芝光町
- 富山県立山町
- 岐阜県養老町
- 三重県名張市
- 三重県熊野市
- 奈良県天川村
- 岡山県真庭市
- 愛媛県愛南町
- 鹿児島県始良市
- 沖縄県久米島町

P26 **特集「協議会の歩み」**

日本の森・滝・渚全国協議会の設立からこれまでの歩みを紹介

P36 **自然敬愛宣言**

平成26年度の総会で採択された自然敬愛宣言

P37 **会員・役員名簿**

日本の森・滝・渚全国協議会の会員名簿及び役員名簿

編集にあたって
日本の森・滝・渚全国協議会2021年会報の編集にあたりまして、寄稿等のご協力をいただきました会員各位に厚くお礼申し上げます。本会報は、会員相互の情報交換や百選地を活用した地域づくり等に広くご活用いただければ幸いです。今後ともよろしくご願い申し上げます。

日本の森・滝・渚全国協議会では、ホームページから概要やイベントなど全国の百選地情報を発信中です。
URL <http://www.mori-taki-nagisa.jp> もしくは「森滝渚」で検索。



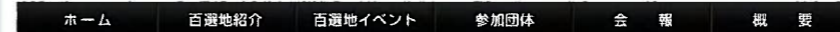
日本の森・滝・渚全国協議会
自然環境に関する全国組織「森林浴の森全国協議会」と日本の滝全国協議会、日本の渚全国協議会が合併し、「日本の森・滝・渚 全国協議会」が誕生しました。



100選地に選ばれた各名所では、四季を通していろいろな催しが行われています。



地域をクリックで、各参加団体(エリア)ごとの100選地をご紹介します



森・滝・渚の各百選地を紹介
(概要・アクセス・周辺ガイドなど)



百選地のイベント情報を掲載



地域別に百選地を検索



会報のバックナンバーも掲載





ヒスイ海岸から昇る朝日

令和3年度
総会
開催地

Asahi Town

海岸から山脈まで
ダイナミックなパノラマが広がるまち

富山県朝日町



朝日町は、富山県の東の玄関口に位置する人口約11,600人の自然豊かな町です。平成28年度に国石に認定された「ヒスイ」が打ち上げられる「ヒスイ海岸」から、町名の由来になった名峰朝日岳や北アルプスの白馬岳まで、海拔0mの海から3,000m級の山々までのダイナミックな自然を楽しむことができます。

日本の渚百選 「ヒスイ海岸」

ヒスイ海岸は、東西約4kmの砂利浜で、「日本の渚百選」と「快水浴場百選」に選ばれている町を代表する観光地となっています。また、「世界で最も美しい湾クラブ」の加盟湾でもあり、富山県の沿岸市町と一体となり、美しい海岸の魅力の世界に発信しています。

「ヒスイ海岸」という名前は、ヒスイが打ち上げられることだけでなく、打ち上げられたヒスイを加工する遺跡が海岸近くで見つかったことに由来しています。ヒスイ海岸の山手にある縄文時代前期の「明石A遺跡」は玉づくり遺跡としては日本で最も古いもの一つとされています。ここからはヒスイの原石や滑石の耳飾玉が、また、縄文時代中期の「境A遺跡」ではヒスイ大珠が出土しました。いずれも古代の装飾品で、今日のイヤ

リングやペンダントにあたるものです。古代人はヒスイをアクセサリとすると同時に、呪術・宗教的な意味を持たせ、限られた人しか身につけていなかったと考えられています。

宮崎の「浜山玉づくり遺跡」は、約1,500年前の古墳時代のもので、ここからは2棟のヒスイの工房跡とヒスイの勾玉など、多数の未完成品が発見されました。この発見により、日本でもはじめて古墳時代のヒスイ勾玉の製作方法が明らかにされ、遺跡近くのヒスイ海岸で原石を採拾して勾玉を製作していたことがわかりました。

太古の浪漫に思いを馳せ、ヒスイ探しを楽しむ人たちの姿が二年を通して見られます。



浜山玉づくり遺跡で出土した勾玉と製作用の砥石

「昨年前にオープンしたヒスイ海岸観光交流拠点施設「ヒスイテラス」は、四季を通して美しい海岸を眺めながら観光客が語り合う憩いの空間となつています。

また、ヒスイテラスは富山湾岸サイクリングコース上に所在しており、サイクルステーションとしての機能も有しており、各種サイクル大会のエイドステーションとしての利用をはじめ、県内外から多くのサイクリストが集う場ともなっています。

あさひ舟川

「春の四重奏」

春には、朝日町の西側を流れる舟川の兩岸1,200mに渡って、約280本のソメイヨシノが咲き誇り、美しい桜のトンネルを作り出します。

桜の開花時期に合わせて、地元の農家が植えた極早生のチューリップと菜の花が咲き揃い、雪を抱く朝日岳・白馬岳の北アルプスを背景に、桜並木とチューリップ、菜の花が奏でる四重奏を楽しめます。この時期にしか見ることのできない朝日町の春の絶景を求め、県内外はもとより近年では国外から訪れた大勢の花見客で舟川べりは賑わいます。



あさひ舟川「春の四重奏」

歴史と文化の味「バタバタ茶」

朝日町の蛭谷地区で古くから飲まれているのが「バタバタ茶」です。煮立てた黒茶を五郎八茶碗に入れ、茶せんてで泡立てて飲みます。バタバタ茶の名前は、飲む際に茶せんを「バタバタ」と慌ただしく動かして泡立てる動作が由来となっています。

蛭谷地区にある「バタバタ茶伝承館」では、白い湯気をたてて絶えず沸いている茶釜を囲むように腰掛け、バタバタとお茶を点てながらゆつたりとした時間を過ごすことができます。各自が持ち寄った山菜の煮物や漬物などのお茶請けも楽しみの一つ。地元の人たちの輪に加われば、尽きないおしゃべりの時間の始まりです。



バタバタと泡立てたバタバタ茶



バタバタ茶伝承館で語らいの場を楽しむ

朝日町のソウルフード

「たら汁」

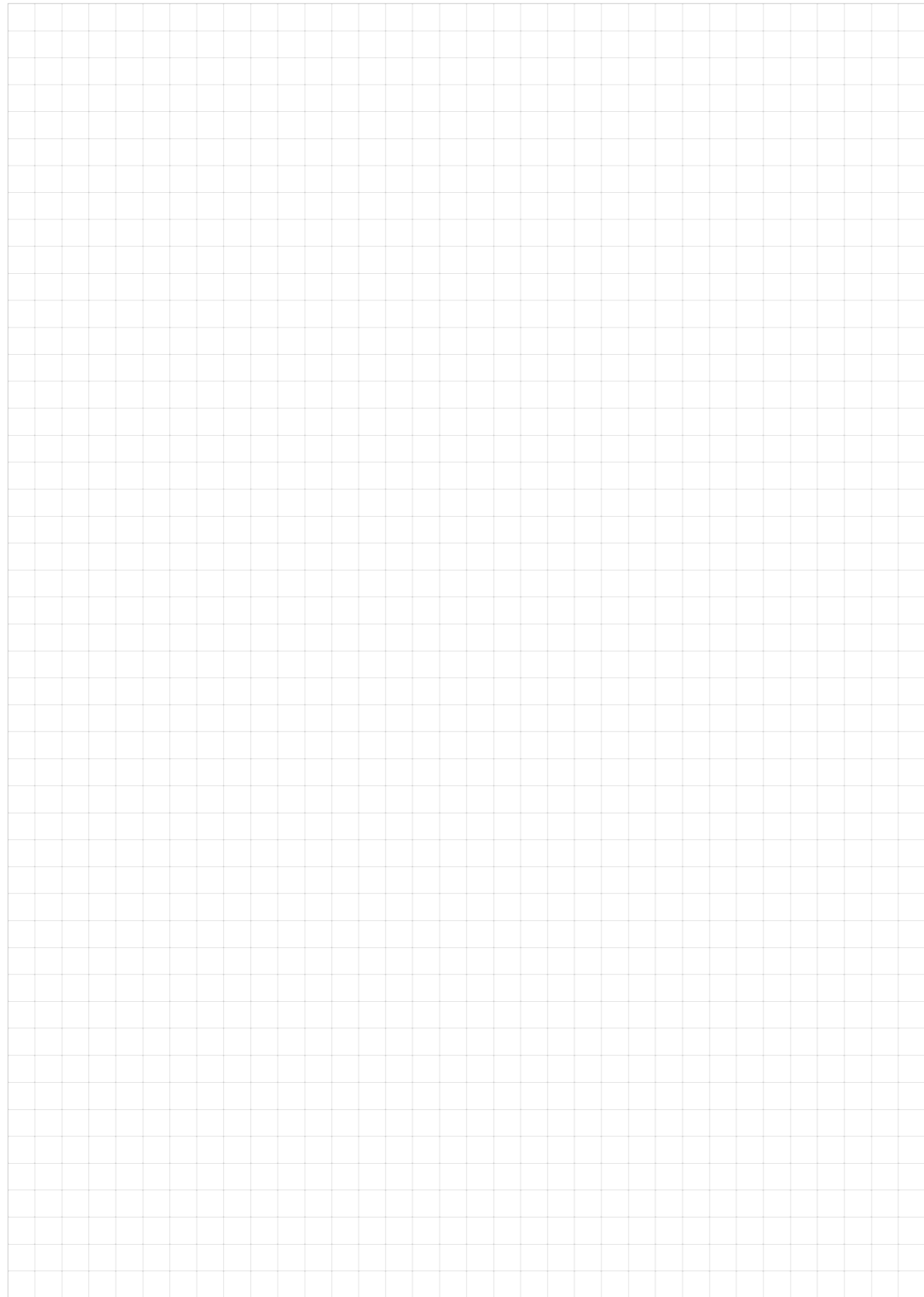
越中宮崎駅付近の国道8号沿いは、「たら汁街道」と呼ばれるほど、たら汁のお店が点在しています。たら汁は、漁から帰ってくる漁師たちを、浜で待っていた女房たちが迎え入れるために作った料理とされており、現在でも町民の「ソウルフード」として食べ親しまれています。

新鮮なたらをぶつ切りにし、身やアラ、頭、肝まですべて鍋に入れ、味噌で煮込んだ朝日町の郷土食「たら汁」。宮崎地区の旅館、民宿やドライフインなどで二年中味わうことができます。



名物「たら汁」

MEMO



富山県朝日町へのアクセス

◆飛行機で

富山空港より
〈バス〉⇒富山駅⇒
〈あいの風とやま鉄道〉⇒
泊駅・越中宮崎駅(約50分)
〈レンタカー〉⇒
北陸自動車道・富山I.C⇒
朝日I.C(約40分)

◆車で

北陸自動車道・富山I.C⇒
朝日I.C(約40分)

◆電車で

黒部宇奈月温泉駅⇒
バス(あさひまちエクスプレス)⇒
泊駅・越中宮崎駅(約30分)

